

3 月 2 9 日 (第 7 号)

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録目次

平成25年3月29日（第7号）

出席議員	1
議事日程	2
開議の宣告	3
(提案理由説明・質疑・討論・採決)	
第31号議案 副町長の選任につき同意を求めることについて	3
第36号議案 豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正の件	19
教育長あいさつ	24
町長あいさつ	25
閉会の宣告	25

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録（第7号）

年 月 日 平成25年3月29日（金）

場 所 豊能町役場議場

出席議員 14名

1番	橋本 謙司	2番	井川 佳子
3番	高橋 充徳	4番	岩城 重義
5番	小寺 正人	6番	山下 忠志
7番	永並 啓	8番	竹谷 勝
9番	福岡 邦彬	10番	秋元美智子
11番	平井 政義	12番	高尾 靖子
13番	西岡 義克	14番	川上 勲

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により、議会に出席を求めた者は、次のとおりである。

町 長	田中 龍一	総務部長	乾 晃夫
教 育 長	小川 照夫	建設環境部長	川上 和博
生活福祉部長	上林 勲	教 育 次 長	桑田 良彦
上下水道部長	高 秀雄	会 計 管 理 者	上西 悦子
消 防 長	西本 好美		

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	乾 利昭	書 記	杉田 庄司
書 記	高橋 欣也		

議事日程

平成25年3月29日（金）午後1時開議

日程第 1 第31号議案 副町長の選任につき同意を求めることについて

日程第 2 第36号議案 豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正の件

開議 午後1時00分

○議長（福岡邦彬君）

皆様、こんにちは。

ただいまの出席議員は14名であります。
定足数に達しておりますので、これより
本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のと
おりでございます。

日程第1「第31号議案 副町長の選任
につき同意を求めることについて」を議題
といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

皆様、こんにちは。

第31号議案の説明を申し上げます。

第31号議案、副町長の選任につき同意
を求めることについて、御説明申し上げま
す。

本件は、新たに副町長を選任するため、
議会の同意を求めるものでございます。

同意をお願いいたします方のお名前は、
中井勝次様。御住所は、大阪府箕面市桜4
丁目7番25号。生年月日は、昭和30年
10月5日でございます。

中井さんは昭和54年10月に箕面市役
所に入庁され、その後、平成13年4月に
人権推進課長となり、その後、秘書課長、
広報広聴課長、窓口課長、市長公室次長を
経て、平成19年11月に市長公室長とな
られ、平成21年4月からは教育委員会事
務局教育次長として勤務されておられます。

なお、任期につきましては、平成25年
4月1日から4年間でございます。

何とぞ御同意賜りますよう、よろしくお
願い申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

ただいまこの上程されております副町長
の件でございますけれども、ずっとこの職
歴やら全部、今、説明されておりますけど
ね、今この豊能町にとって一番大事なこと、
やはり避けて通れない一番大事な部分い
うのが、その問題になっているのはダイオキ
シンの問題ですわね。そういったことにつ
いてこの、いうたら教育畑でずっとこられ
た人にこのダイオキシンに対するそういう
ことが全て持っておられるのかどうかです
わな。

それと、今までならば、前池田町長体制
というか、その中におきましては、ダイオキ
シンは処理して解決しなければならないと
いうことで、やっぱり町のことをよく知っ
た、町の中のことを知った人で、なおかつ
そのダイオキシンに詳しい、今まで取り組
んできた人がなっておられたという経緯が
ある。そういった中において、この中井さ
んというお方が、そのダイオキシンにつ
いてちゃんとした知恵を持って進められる人
かどうか、その辺はどういうお考えですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

まず、ダイオキシンにつきましては、私
も、副町長も中心になって当然進めてまい
ります。それに当たりましては、当然、今、
施設組合、また豊能町の理事として、今、
総務部長等、理事がおりまして、それとま
た来年度につきましてはさらに充実してい
きたいと思っておりますので、そういった
ことで十分やっついこうと思っております。

また、この中井様は、これまでさまざま
な経歴を持っておられまして、またそのり

ーダーシップという面でも十分発揮されるものだと、十分発揮していただくものだと期待しております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

何か町長のおっしゃってるのはもう一つわからんですけれども、ダイオキシンの問題については、前回からも1市3町でしていただくとか、安易な発想で物事を判断されてるように私は思うんですわ。というのは私も、その1市3町のほうへはずっと出席している議員ですので、そういった中身はわかっておるんですけれども、1市3町に何ぼ頼んだって、そんなもん、1市3町でダイオキシンの処理なんかしてもらえないはずがないんですよ。そんなもん経緯がありますがな、今までからずっと長い1市3町の歴史もあるんですから、その中でもう最初からうたわれてたときに、豊能のダイオキシンはうちでは処理しませんよという条件でこれ設立に当たって建ってきておるわけでしょう。そんなもん今、行って、豊能のダイオキシン、もうここでしかしゃあないさかい、してくれなかったってできない。そんなもん目に見えてますわ。

それと、高山に今、保管されているダイオキシン、これだつてことしのもう10月の末にはそこから出さなければならないんでしょう。町長は、私、施設組合の議会でも傍聴させていただいたけど、ことしはまた新たに移設するような金額組んでやっておられるけど、この方が来て果たしてそのダイオキシンにちゃんと結びついて、本当に取り組みができるかどうかというのが私らは物すごい不安を持っております。その辺はやっぱ副町長になれる人との話もちゃんと詰めて進められていることだと、私

はそう思っておりますけれども、その辺はどうです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

ダイオキシン等の知識につきましては、当然これまで施設組合、また豊能町の職員でもこれまで取り組んでいるものがございます。そういったものもありますので、それと今回やはり必要と思っておりますのは、その方たちを取りまとめるリーダーシップ、そういったものが必要だと思っておりますので、そういう意味でいいますと、この方はリーダーシップについても非常にこれまで経歴上もすぐれた方だというふうに理解しております。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

いや、ここでいう、今町長が答弁されているように、リーダーシップ、リーダーシップって、リーダーシップでそんなダイオキシンが片づくんですか。そんな問題ちゃうでしょう。それよりもやはり大阪府に依頼すると、今までは地域から出していた副町長がおられましたけども、今回大阪府にまでお願いして、やはり私はその大阪府の中で、そのダイオキシンとかいう処理に向かったの詳しい方が副町長に来られると私は信じてたんですわ。ところが今回、出てきたのがまた違うというような感じで、箕面から来られるんですけど、果たして私は、今、本当に豊能で一番大事なんいうたらエスカレーターとかそんな問題じゃないですよ。エスカレーターは平成31年までは

いけるというような話ですけども、それよりもダイオキシンを片づけん限りは豊能町というのが前へ進まんとは私は思うんですよ。まず第一に取り組まなければならないのはこのダイオキシンちゃいますの。この処理はもう平成9年から始まって、今までずっとやってきておるんですよ。それが進まへんのやったら、何をしたかて意味ないんですよ。これをとにかく解決に向けて進めていってこそ豊能町があるんですよ。私はそうだと思いますねん。そういったことをやっぱり考えて、この副町長を選ぶのでもびちっとしてやっていただかないと、我々不安でしゃあないですよ。それで私は今ちょっと質疑させてもうとるわけですね。もう一回、そのダイオキシンに進めていく話はちゃんとびちっとできるんですね。それだけお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

先ほど技術的な話、これにつきましては当然、今、大阪府から人、来ていただいてまして、その方を中心に今、話を進めているところでございます。ですので技術的な話については当然、今、大阪府とも連携してまして。あとはその取りまとめということで、私も副町長も一緒になって今後積極的に取り組んでいくということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかに質疑。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

今、平井議員からも質疑あったと思えますけど、町長も十分、この豊能町の中のダ

イオキシン問題というのは大きな問題、豊能町、能勢町にとってのことですけどね。ただ現在、高山に保管されている、その期日も10月末だということも十分御存じだと思うんですけども、その上で質疑させていただきます。

一番最初は、町長たしか大阪府のほうに副町長をお願いに、私はたしか2月の25日の時点では行ってますと聞いたんですね。お願いに行ってますと。それはどのようなお考えですかと聞いたときに、ダイオキシンの処理をするためですと、大阪府の協力を得たいからですと。そうですかと。ただ、大阪府の協力というのは豊能町、能勢町の施設組合の方針が決まらない限り難しいものもあるんですけど、そうですかということで、人事ですからね、お話をお伺いさせていただいてたんですけど、その後大阪府からの副町長ということがなくなって、今ここに箕面でお仕事されていた方のお名前が挙がっているんですけども、この大阪府のお願いしてた方というのは町長のほうからお断りになったんですか。それとも、ちょっと難しいですってお断りをいただいたのか。特に、町長ダイオキシンのことで大阪府の協力が得たいからお願いしてましてというふうなお話ただけに気になるのが1点です。

それともう1点です。今話しましたように10月の末ではなくて、高山のダイオキシンの問題は、つい先週でしたっけ、7月の30日のほうに、これ農地も転用の問題があって、ここで一つ大きく動かなくちゃいけないというふうな状況、今なってると思うんです。このことというのは先方の方にはお話しされてるんでしょうか。そしてまたそのことでこういうふうに、目先に来ますからね。そのことをまずお伝えされてるのかどうか。その上でもやはり覚悟を

持ってこの豊能町にというようなお考えで
いらっしゃるのかどうかも含めてちょっと
質疑いたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

秋元議員の質疑に対してお答えさせてい
たきます。

まず1点目につきましてですけれども、
当時大阪府のほうにお願いはしてありまし
た。そのときにダイオキシンという話も申
しましたが、もう一つは平成25年、平成
26年と全事業を見直すということで、そ
ういうこともありますので、行政的な知識
を持った方、客観的な目で見れる方という
ことも大きな要因ということでお話は当時
させていただいたところでございます。

そこで、どうして大阪府からの話がなくな
ったかということにつきましては、やはり
大阪府といたしましては、議会で大多数
の承認がもらうということをやはり一つの
大きな条件ということがございましたので、
そのあたりを両者で話し合ったところ、そ
れではということによってこの話が、お
互いお話ししたところでなくなったとい
うところでございます。

それと2点目の、7月30日の農地転用
の話、これはもう西野様にはもう既にお伝
え・・・（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

お答えください。

○町長（田中龍一君）

お伝えしております。この件については
お伝えしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

大阪府のほうは大多数の、要するに議会
の了解のことだと思うんですけども、それ
が得られそうにもないということで話し合
ってお断りになったというふうな御答弁で
すか、今のは。私ちょっとそういうふう
に受けとれてしまったんですけども、それ
をどのように町長が、大多数を得られそ
うにないと判断されたのかも理解できな
いことですし、もう一遍ちょっと答弁願
いたいと思います。

それと副町長ですね。私がお尋ねした
もう一つの質疑というのは、7月の30
日に農地転用の問題が起きることを地
主さんに確認したとかそういうことでは
ないんです。地主さんは、だって当然知
ってるわけですよ。自分の土地の期限
的なこと、ダイオキシンを預かる期限
的なこと、そういうことではなくて、私
たち自身も、つい先週わかったこの7
月30日という締め切りに対して、この
ことを、大きな問題ですね。当然認識
されてると思います。大きな問題です
ね。このことを、今ここに候補に挙が
っていらっしゃる、お名前の挙がって
いらっしゃる方にお伝えしましたかとい
うことです。単に、豊能町、ダイオキ
シンの問題抱えます。今、高山にあり
ます。10月30日まではそこは保管、
その後動かなくちゃいけないという問
題でなくて、もっと前倒しの7月30
日という早い時期にこういう問題が起
きるということをお伝えされてますよ
ね、という質疑です。地主さんじゃな
くて、ここにお名前の挙がっている方
にです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

先ほどの件につきましては、まず地主
さんに話をし、それについては契約、要
は

農地転用の延長ということについて、今、話をしているところでございます。それについて特に否定的な言葉はいただいておりません。後、今のそういった状況についてはお伝えしているというところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと待って。この話の件についてお答えください。

○町長（田中龍一君）

ですので、今の件につきましては、地主さんにお伝えして、地主さんは好意的に手続に入ってもらっているところです。ですので、（発言する者あり）そういった経過もありますので、その件についてはまだ・・・、という状況を伝えていると、副町長の候補の方に今、お伝えしているという状況でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

違います。初めの、私いったのは、初めに、府との話し合いの話を、今、質疑されましたから、それにお答えくださいと。

（発言する者あり）

お静かに願います。

1点目の府との話し合いをご質疑されましたでしょう。それです。それは1回目も2回目も変わってませんので。

○町長（田中龍一君）

府との話し合いにつきましては、やはり私がいろいろお話を、私がいろいろ話しさせていただいたということの感覚、踏まえまして、今の状況を私なりに判断して、それを大阪府にもお伝えしながら、その大阪府との協議の中で決まったということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

そうしますと町長、私は、2月25日でした。大阪府にお願いしましたと。できるならダイオキシンの問題もありますし、土地のことやいろいろな処理のこともあるし、できたら町内のほうがいいんじゃないかと。そしたら町長のほうは、ダイオキシンの問題があるから大阪府にお願いしたいんだと、そうですかと。そうですね、そうですかと。私たちはそうですかしかないんですよ。そのときの感触で、じゃあこの議員は賛成する、反対すると、そういうふうな視点でお話しされていたということを今、御答弁なさったのと同じなんですね。私そういう認識させていただいてよろしいのでしょうか。どこでどのように判断して、大多数、大阪府が期待される大多数が得られないと思ったのかというのは、そういうところですか。議員がやっぱり、このことはこうです、こういうふうな考えもありますと、いうそのことで、ああ、この議員は賛成する、反対するというふうにつえられたんですか。ちょっと非常にそれは、この先いろいろな形で御意見なり、自分の考えを申し上げていくのに大きな問題だなと、私、今思いましたので、そうじゃなかったらもう一遍そうでないということをおっしゃった上で、どういう形で大阪府のほうがなくなったのか、その経緯をお願いいたします。

それともう1点なんですけども、高山のほうに関しましては、今の町長のお話ですと、じゃあ7月30日の問題はクリアできるという判断でいらっしゃるということで、大きな問題はじゃあ10月の末。今はそういう状況で理解させていただいていきますけどもよろしいでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

1点目の件につきましては、直接話をさせていただいた議員の方もいらっしゃるし、ほかにはちょっとお会いするということがなかなかできなかった方も何人かいますので、そういったことからやはり総合的に判断させていただきました。

もう1点につきましては、農地転用につきましては、今順調に理解を得て進んでいるというふうに私は理解しております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

町長、大阪府と話したときに断ったのかどうかについて、あなたが断ったのか、向こうが断ったのかということをお聞きしてありますので、ちょっとその点お願いします。

○町長（田中龍一君）

それについては、もう両方で話をして、こちらもこういう状況でしたらということにして、向こうもそういう状況でしたら、そうしたらということになったと、両者了解のもとでそういう形になったというふうな形でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにもございますか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

町長が就任してから半年が経過しているわけですが、すぐに副町長を置かれなかった理由についてまずお聞きします。

それともう1点は、町長は何をするために副町長を、どういった改革をするために副町長を置こうと考えておられるのかをお聞きください。私は町長に何度も、グラ

ンドデザインを示していただきたいと、そうしないと豊能町を将来どういった町にしたいのかというのが全くわからない。それがわかれば、この人だったらこういうのに役立つなど、町長がやりたいことの右腕になってもらえるなどということがわかりますので、そこら辺をまずお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

1点目の、すぐになぜ副町長を置かなかったかということですが、これにつきましては私もこの行政の仕事を、豊能町の仕事をしっかり見て、人選についてもその中で選んでいきたいというふうな形がありましたので、すぐにはというよりは、私も仕事を見ながら、またどういった方が必要かということもそういう中で判断していきたいと思いましたので、すぐには選びませんでした。

それともう一つ、副町長が来ていただいて何を期待してるかということにつきましては、先ほども申しましたように、この前の議会からもありましたように、今後なかなか財政状況も豊能町厳しくなってくるといこともございまして、これから平成25年、平成26年に全部の事業を見直して、そこで改革をしていきたいということがございます。そこにはやはり行政経験が豊富な方、かつ外の目でドラステックに見ていただける方ということが適任だと思っております。主な理由は以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

じっくり見ていたということですけど、

僕は半年間、その副町長がおられない間、僕は改革がとまったのかなというふうに考えているんですね。行政の仕事って、別に町長、副町長とかいなくても進むんですよ。手続的なものがほとんどですから。ただ、改革を本気でしようという場合は、僕は最初の段階から、就任直後の所信表明のときに僕は出してもらいたかったんですね。僕きつと出ると思ってたんです。選挙前から多分多くの人に副町長を置いたらどうやということとは多分言われたと思います。それはやはり副町長を置いて万全の態勢で職員と改革に取り組まなければ、やはりじっくり見ているという、そんな余裕は僕はないと思うんですね。新入社員じゃないんですよ。選挙で当選して就任してから、もう豊能町のトップになるんですね。そうしたら様子を見て、半年間様子を見てたら、もう4年のうちの半年ですよ。8分の1、様子見たんです。その余裕というのは僕はとっても有権者に失礼じゃないかなと思う。僕だったら最初に就任するときから、こういう人だったら自分の改革に近いなということでしたと思うんです。もし当初から副町長がいれば、先日、川上議員もおっしゃってましたけど、今回の補助金ですね。準備万端で結構いろいろな、とれたと思いますよ。僕はあの補助金を逃したのって非常に責任でかいと思います。だって今回はほとんどバブルみたいなもんですから、二度と来ないですからね。だから新しい副町長になっていただく、非常によくわかります。そうしたら豊能町の早い段階で、どういったところを変えていくのかということを実際に示してください。常に町長の口から聞くのは、何か事業評価をして見てから、様子を見てから、職員に聞いてから、提案を受けてから。町長の方針が聞きたいんです。どんな町にしたいのかという。そ

れを聞くから、いやそれはどうかなって議論ができるので。だから僕はそういったものを、もし選任されたらすぐ取り組んでいただきたいと思いますがいかがですか。

それと、今回3月の一般質問でダイオキシンのことを聞かせてもらいました。1市3町、多分なかなか、かなりしんどいことやと思います。でも、辛うじて可能性があるとしたら、町長がとりあえず何度も行っ、川西の議員とか地元とか環境保全委員の方とか、足運んで理解得るしかないんですよ。それは高山に置いてある今の現状もそうですよ。町長が行くしかないんですよ。もう。何回も行く、それしかないんですよ。日下元町長はとりあえず何回も行ったというのは耳にしております。それで住民の方と結構仲よくなったということも聞いてます。それしかダイオキシンってなかなか解決できないと思います。それで副町長に来られる方、中井さんと町長はどういったふうに取り組んでいかれるおつもりですか。どういう覚悟を持って取り組んでいかれるつもりか、その2点お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

1点目につきましては、私、改革については当初からスローガンを掲げたりとか、そういったこともさせていただいた。やはり仕事、やっぱり人選というのはやっぱりきっちり見ていくということは大事だと思っておりますので、すぐに決めるというよりはそういった形で私は決めさせていただいたと。

それと先ほどの補助金の話ですけれども、これにつきましては、とれるものはもう全てとるように職員の方にも指示させていた

できましたし、それが豊能町としては全力を尽くしてやったつもりでしております。

次のダイオキシンにつきましてですけれども、これにつきましては副町長とともに、これは早期解決に向けて積極的に頑張っていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

町長、補助金に関してですけど、多分町長がいろいろ、町長になられる前ですね。いろいろ行政に提案したのは、こんな補助金あるんですよ、こんな使ったらどうですかということを提案されてたと思います。僕はその大阪市の経験というのを、一番そこを期待した部分ではあるんですよ。補助金のことをいろいろ詳しいんじゃないかなと。今回、とれるものはとったと言いますが、僕はそんな感じしないんですね。今回の補助金なんていうのはバブルみたいなもので、ほとんど詳細なんて決まらずに安倍内閣がぱっと出したものですよ。だからとりあえず、こじつけでも何でもいからとろうと思ったら幾らでもとれたと思いますよ。例えば道路についても、通学路やったら補助金はおける。でも道路の改修やったらしんどい。だってほとんど子ども通るじゃないですか。そしたらそれは通学路って言ってしまえば僕はとれたんじゃないかなと。そんなんが僕、ちょっと言葉を変えるとか、解釈を変えるとか、そういったことで僕はとれたと思うんです。僕はそれを、補助金に関していろいろ詳しいんであったら、そういったことを職員に導いていく、それが僕は町長の役割やと思っております。だからそういう意味で私は、じっくり見ていた、その間に準備を、準備が結局できなかった、それで補助金のとれなかったという

側面があると思うから、僕はそこは純粋に反省していただきたい。それで次に向かって副町長とタッグを組んで、そういったことが今後ないようなことをしてもらいたい。そのことに関してお聞かせください。

それとダイオキシンに関して、一生懸命、本当に高山とか1市3町とか足運んでいただけですか。前、質問したときは、とりあえず川西市長にお願いしてって。市長にお願いするのはわかりますよ。でも言わせてもらいましたよね。市長、いきなり行っちゃって、周りがいっぱいあることだから絶対うんなんて言いませんよ。そうしたら市長を支えるには、いろいろな周りのほうから川西の議員にも協力いただいたりとか、地元の人にも、いやそれだけ熱心やったらちょっと考えてもいいなとか、それでようやく可能性がちょっとふえるんですよ。そういったことを副町長と一緒にして、何とかこの豊能町、ダイオキシンある限り予算でもずっとそこがネックになるんですよ。ぜひともそういった動きをしていただきたいと思いますが、その2点、覚悟についてお伺いしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まず1点目につきましては、これは私も、町の職員もできる限りのことはやったと思っております。ただ、これにつきましては、再度でも、今回新たな副町長をお迎えして、その方も当然これまでの経験もありますので、そういったことも一緒に合わせながら、さらに努力は、それは当然してまいります。

それと高山につきましてですけれども、これにつきましても当然、私、副町長と一緒に頑張りたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

副町長につきましては従来、町内から選んでこられた経緯があります。それは地元で明るい、詳しい人、それと行政の流れがはっきりわかっている方と、こういうことなんですけれども、今回は全くそういう経験をなさった方ではありませんので、その点についてどのような考えで選んでこられたかというのを、先ほどはいろいろ経験されたとおっしゃいましたけれども、豊能町には明るいとは、ちょっと今お聞きした中では思えないんですけれども、その点と、それから先ほど御説明された、この大阪府にお願いしたということですが、提案されていないのに議員が、賛同してもらえないという判断はどのようなお考えからそうなったのかをお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

高尾議員の質疑についてお答えいたします。

まず1点目の話ですけれども、副町長、前回は確かに町内の方でしたけれども、それまでは大阪府の方とかさまざまの方がいらっしやっただかと思っております。

今回につきましては、先ほども申しましたように、行政改革等の視点もありまして、行政面に明るく、なおかつ外部の目で見れるということ、そういった形で今の方が適任だということと考えております。

それと大阪府の、形ですけれども、これにつきましては、私から人事について説明

を申し上げるといったことで当たらせていただいたんですけれども、そこでちょっとお会いもいただけない方もいらっしやっただかということもございまして、そういったことから非常にこれ難しいのではないかとということで判断させていただきました。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

副町長については、府から来ていただいている方もおられますけれども、それは、府は自治体に直結しておりますので、その点で各自自治体に対しての情報はきちりと入ってるということですので、お隣で教育委員会のほうの仕事をなさってこられた方には全くそういう情報は入ってなかったと思いますけれども、今回、こちらのほうの情報は、町長のほうからおっしゃっているかもしれないけれども、やはりダイオキシンって本当に、今までの町長が処理に向けていろいろと対策を練ってこられましたし、外部に31社か32社かお願いされてきて、いまだに処理ができない、そういう状況のもとで、1市3町のほうも聞いておりますけれども、なかなか処理は大変問題、先ほど平井議員もおっしゃいましたけれども、建てる前から処理は無理だということをおっしゃって、いまだにそういう返事ももらえてないと思うんですけれども、その経過どういうふうになっているのかをお聞かせ願いたいと思いますね。

それと、この府のほうにお願いして、議員さんに皆さんお伝えなさって、これはあかんという判断をされたというのが、その提案物も何もないのに、ただ府から来るという話だけで、どういう人物かわからないのに勝手に先入観で、反対されるというふうに判断されたということになるんでしょ

うか。お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

ちょっと1点目の質疑がちょっとわかりづらかったんですけど、2点目につきましてですけれども、それにつきましては先ほど申しましたように、こちらから、確かにこの人だということは示すことはできなかったというのは、それは確かにそのとおりです。それで御判断を求めたということではございます。ただ、そういった中でもいろいろ、ちょっと話、お会いもいただけなかったという方もいらっしゃるということもございまして、いろいろ話を聞いてる中で大多数というのは非常に困難だということと判断させていただいたということとでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

第1点目について、ちょっと今から、2回目ですので。第1点目まだ、ちょっと補足でお願いできますか。第1点目という、わかりにくいということで。

○12番（高尾靖子君）

1点目ですね。川西の処理は、従来の管理者になられてこられた、また副管理者になられてこられた方が、あちらの1市3町のほうでいろいろとそういう論議もされてきてるんですけども、1市3町のごみ焼却施設が建てられる前から、豊能郡のダイオキシン処理はしないという方針で建てられて進められてきたものなんですね。それ御存じなんだと思うんですけども。だから、お返事がすぐいただけてないということ、いまだにあるんじゃないかと思うんですけども、その点をお聞かせ願いたいんです。

一度行かれて、何回行かれたかいうのもあるんですけども、まだ返事がきてませんのですね。その点お聞かせください。お聞かせいただいて、3回目ですか。

○議長（福岡邦彬君）

いやいや、2回目で結構です。

○12番（高尾靖子君）

2回目でいいですか。それちょっとお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

確かにダイオキシンを端に発して、今回、国崎クリーンセンターというのはできているということで、非常にそういったこともあると・・・

○議長（福岡邦彬君）

ちょっとお待ちください。違います。それでいいですか。自信持ってお答えできますか。今のおっしゃることは。違いますよ。

○町長（田中龍一君）

済みません。ダイオキシンも一つの要因ということで・・・

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと暫時休憩します。

（午後1時40分 休憩）

（午後1時43分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今、このダイオキシンについては、能勢・豊能の施設組合というところで処理するということと一つあるんですけども、ただ、外部的にはこれは一廃という

ことで判断されておりますので、その行政内のごみ焼却場で処理しなければいけないということで外部から断られているということも一つの事実であります。そういったことで1市3町のほうにお願いを、能勢の町長とも相談をして川西市長のところをお願いに行ったというところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

何回行ったかいうのを聞かれていますから。何回行かれたかということ。

○町長（田中龍一君）

能勢の町長と行ったのは1回でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

副町長にお願いしていくのは一つこの問題が大きくなると思うんですけども、全く返事がもらえてないということでよろしいんですか。1回行かれただけで返事がすぐもらえると思われているんですか。

それと、3回目ですからもう1点お願いしますけれど、今回提案されたこの中井勝次さんですね。いろいろ頑張ってこられている方だと思いますけれども、今回については、じゃあ賛同を得られるということで提案されてきたということなんですか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

お静かに願います。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

1問目の質疑については、1回話をして、能勢の町長とも一緒に話をして、今後どうしていくかということは今、能勢の町長とは密接に話をしているところでございます。

次に、中井勝次さんにつきましては、当然行政経験も豊富であり、御同意いただけるものだというので議案に上げさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませぬか。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

それでは、この件につきまして質疑をさせていただきます。

まず、先ほどからいろいろとやりとりを聞いておりますと、何か質疑の趣旨と答弁の趣旨が違うように思えてならないんですね。例えば先ほどの、府のほうへお頼みされたということやけども、府のほうは議員さんの同意をとってくれということで回られたと。しかし同意がされにくいという判断を町長はされて、府のほうと話した結果あかんようになったということですね、府のほうとは。今回のこの中井さんも、フリーな立場の人ちゃいますわな。箕面市で教育次長として、あと3年か4年か任期ありますわな。そんな中で、やはり箕面市の町長ともこれは話しせないかん。もちろん本人とはもちろんやけど。その中で、やはり同じことが多分出たと思います。議会の同意のことやから、同意していただけるんでっかという話は、これは出て当たり前やと思いまんねんけども、その辺のことについて町長は我々議員、多分回られたでっしゃろ。私はお会いしてへんけども。その中で、これはいけるなという確信を得られて、提案されたでっしゃろね。ということは、例えば例えばね、これ否決されたらあなたの立場はどないなりまっか。恐らく箕面市の町長に顔向けできへんやろうし、もちろん本人に対しても顔向けできへんやろうし、これはちょっと、我々議員はそない関

係ないけども、豊能町長の田中龍一さんとして、これは非常に、箕面市に限らず近隣の市町に対してこれは大きな問題になる可能性が十分あると私は思いますわ。その辺を考えてあえて提案されたのかどうか、それが第1点。

それから、その次に高山の件やけども、高山の自治会あるいは地主に何回行かれたんでっか。例えば、電話でも言うてますという話をおそらく出るやろ。こんなことを電話で済ますことはちやいますわな、実際のところ。高山へ行かれた経緯を、いつから行かれて、今日までに地主と自治会含めて、時系列に一遍ここで言うてくださいな。それが第2点。

もう1点は、全員協議会の席上、この中井さんを議会に提案するというので、私、全員協議会で質疑したのは、あなた答えられたのは、外部の、今もおっしゃっておったけども、この副町長の選任に当たり、大阪府に対してもあるいは箕面市のその中井さんに対しても、外部の人物を要請することによって町が変わるんだということは、終始一貫、この考え方に私は変わりなかったのかなというぐあいに思いますけども、これは第3点目のお答えしていただきたいことやけども、よろしくお願ひします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

1点目につきましては、この方ということで説明もさせていただき、経歴、それぞれキャリアから見てこれはすばらしい方ということで説明させていただいた中で、この方でしたら必ずや御同意いただけるということで考えたところでございます。

もう一つにつきましては、地元、ちょっ

とこれ時系列といいましても、ちょっと今、細かいものはないんですけれども、一つは自治会のほうに2月ぐらいに行かせていただきました。あの・・・

（発言する者あり）

ごめんなさい。ちょっとそれは今、はっきり覚えてません。

（発言する者あり）

それで、そのときに自治会長ともお話をさせていただいたということですね。

次は、地主さんについては、自治会長さんが今度かわられるということですので、新たな自治会長さんになってから話したらどうかという話もありまして・・・

（発言する者あり）

地主さんにはそのときにはちょっと言えてなかったと・・・

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

静かに願ひます。

○町長（田中龍一君）

それと、ただそれにつきまして、後日、地主さんから、地主さんに連絡がなかったということでお電話いただいたので、急遽お電話させていただいて、直ちに伺わせていただくということは何度か言わせていただきましたけれども、もう電話で、電話でということでしたので、それから何度か電話をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと暫時休憩します。

（午後1時52分 休憩）

（午後1時58分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど途中でとまっておりますので、残りの質疑に対して田中町長、答弁求めます

のでお答えください。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

3点目の質疑についてですけれども、外部の視点が大事だということで今は考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

答弁が、高山の件に関しても時系列的に答弁してください言うてるのに、その答弁が曖昧になってしもうとるわね。もう一遍言いますわね。もう一遍。

まず、1市3町のところへ能勢の町長と行かれてお話しされた。されっ放しで返事もなけりゃもう一回催促もしなけりゃ何もしてないという状況なんか。あるいはまた、返事なかったからまた再度行かれてお願いされたのか。そういうことも時系列的にお答えしていただきたい。高山の件もそういう形でお答えしていただきたい。

それで今回、府の人はそういう形で提案できなかったけれども、箕面市の中井、次長であった人は絶対に通るという確信を持って提案されたということをお聞きしたのでそれは結構ですが、最後の質疑、これあなた考え違いますやろ。最初は町内の方をお願いしたんちゃいまっか。対外的な人物を要請することにより町が変わるんだと、これは終始一貫この考えに変わりはなかったんですかと、私、最初に質疑したけれども、町内の人に要請したことがあったはずやけども、これはもうあなたの頭の中から飛んでまんのか。これやったら、全員協議会の答弁あるいは先ほどの答弁で全然ちゃいまっせ。ほかの議員はいざ知らず、私は

これ理解できる、なるほどそうかいう理解できる答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まず1点目のことについてですけれども、これは去年、ちょっと時間はあれですけども、能勢の町長と日程も合わせて、川西市長とも日程を合わせていただいて行かせていただいたと。そこでなかなか難しいという話もございましたので、それからちょっと能勢の町長とどうしていくのかということを個別に話をしているところでございます。

もう1点につきましては、地元、これ2月の22日に自治会長さんのところに伺わせていただいたと。その後、地主さんからは、ちょっとお電話いただいたのはちょっと忘れましてけれども、地主さんがその話聞いてないという話でちょっとお電話いただいたので、急遽すぐお電話差し上げて、話をさせてくださいという話でしたけれども、そのときは来ることまでは、お会いはしないということでしたので、お忙しいということもあつたかと思うんですけれども、その後何回か電話で話をさせていただいて、それから農地転用について、これ7月末で切れるけれども、これはどうなっているのかということの問い合わせがありましたので、それにつきましては農林商工課のほうに問い合わせをして・・・

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

静かにお願いします。

○町長（田中龍一君）

それを回答をさせていただいたというところでございます。

それと、その対外的な話ですけれども、私、言いましたように、今はという話で言わせてもらったと思うんですけれども、今の現時点では対外的な外部の視点が大事だということで、今、思っております。

以上でございます。

(発言する者あり)

○議長（福岡邦彬君）

済みません、町長。ちょっと今、内部との話、外部の目とおっしゃってたから、何か、今、川上議員の質疑は、そのことが町内と言っていたのと、あったかないかについてお答えください。それだけで結構です。副町長については町内、要請したことはないかということだけお答えくださったら結構です。それが質疑ですから。

○町長（田中龍一君）

要請といいますか、あの・・・

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩します。町長、お座りください。再開は放送をもってお知らせいたします。

(午後2時03分 休憩)

(午後2時45分 再開)

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

先ほどの話でございますけれども、最初は私、豊能町に就任したてのころでしたので、そのころは内部の人に声をかけていたと、副町長について声をかけていたということはございました。ただ、その後、豊能町での経験も積んでいく中で、外部の人が、内部の人に声をかけていたけれども、ちょっとなかなか成立しなかったということもありまして、その後、経験も積み、外部の人に、外部の目も必要であるということも

思いましたので、外部の人にも声をかけたというところでございます。

それと、先ほど高山の件で1点、ちょっと修正させていただきたいんですけれども、地主の方に農地の転用について今現在御理解を求めていると、そういった状況でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

今の訂正ですか。申しわけないけど、きちんとした。

○町長（田中龍一君）

済みません。訂正させていただきます。

先ほど、地主の方に農地転用について、今は御理解を求めているということで訂正させていただきます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

まず、1市3町の件やけども、結局、去年のいつかは知らんけども、去年の時点で能勢の町長と一緒に頼みに行かれて、そのまま本日まで過ぎとるという答弁でよろしいですね。それで、あなたが管理者として行かれたと思いますけれども、一生懸命してまんねんということにつながるかどうか。これは非常に、一般的な考え方すると、これ問題ありまっせ。去年から今日まで、もう3カ月過ぎておるんですわ。期限は10月の28日ですわな、持ち出す期限は。これで一生懸命されているという言葉が、我々議員には到底伝わらないと思いますわ。その、内心で一生懸命されているか、それはわからんけど、表にそれを出さんことには通じまへんで。それをもう一回答弁して無理な話やから、もうそれで置いときますけどね。

それからもう一つ、大阪府へお願いした、

2月の末の時点でお願ひしたことが流れたと、御破算になったという話で、大阪府に非常に関係の深い人が大阪府へ行かれて、今回の件で非常に大阪府に迷惑かけましたということをおっしゃったそうですわ。その内容を聞くと、その人がこちらで聞いた話と、大阪府の要職である人の話、全然反対のことを聞かれたらしいですわ。それは事実であるかどうか、私が聞いた話やからわかりませんがね。いつそういう御破算になった話になったか知らんけども、その御破算になった話をもっと詳しく、やっぱりしてもらわんと、我々は今回の件もやっぱり納得しがたいなど、そういうふうにしてまんねん。

それともう一つ、高山の件は、これはやっぱりどこかに処理する場所か、あるいはどこかに保管する場所がなかったら、これは私がいつも言っているように雪隠詰めになりませ。どうにもならん。わずか、あと6カ月ですわ。努力するという言葉だけではもう通じないときにきたんですわ。行動せんと。それは高山で5月の初旬まで待ってくれという話があったんなら、他の場所で保管する場所を早急に話しする、話ししていくということもしていく必要が絶対にあるんですわ。高山、待って5月の、きょうからやったら1カ月も過ぎますわな。あと何カ月残りまんの。そういう、やっぱりトップはそういう考えを持たんことには到底トップなんか務まりませんよ。先ほど永並議員の質疑で、来ていただいた方と、二人三脚でいくとかなんとかいう答弁されたように聞いてまんねんけど、何ぼ二人三脚、三人四脚でも到底無理な話でせ。もしも高山がオーケーされんときには、こういう方法も考えていかないかなんかということ念頭にに入れてしてもらわんとあかんのちやいまんの。そうでっしゃろ。その考え

あるのかどうか。

それからもう一つ、先ほどの、経験を積んで考えが、外部の人を要請することになって豊能町が変わるんだという考え方に変わったと言われましたけど、その経験、積んだ経験がわずか、内部の人に要請されたのがたしか12月の終わりですわな。それからあと1月、2月、3月。これ提案しようと思われたのがいつか知らんけども、提案されたのは3月22日やね。私が聞いたのは3月の初めに聞いてまんねん。2カ月ですわ。2カ月の間に経験積んだいうような言葉が出ること自体が、私は田中町長という人物を信用しかねまんねや。6カ月や1年経験積んで、その経験を積んだ上で、これはやっぱり内部登用するよりも外部の新しい血を入れたほうがええなという判断されるんなら、なるほどなとわかりますわ。ただ2カ月間だけでせ。大阪府に断られた時点と箕面市の今度提案された方の時系列的なことはちょっとわからんけどね。その辺は我々、私にも我々議員にも、ああそやな、なるほどなというはっきりした、はっきりとした答弁をしてくださいな。また、もう3回目の質疑やから、これで終わりやから、もう質疑できひんから、どのような答弁でも結構ですけど、きっちりした答弁できんのやったらしてください。もうできひんかったら要りまへんわ。

○議長（福岡邦彬君）

要りませんか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

一つは、大阪府の件でございますけれども、これも話ししまして状況をお伝えして、

なかなか話の中で、一つはやっぱりこちらからも辞退せざるを得ない状況やというような話もお伝えして、やはりそういう状況であれば今回は見合わせようかというような話になったというのが話の詳細というか、そういった形でございました。

それともう一つ、高山についてでございますけれども、これにつきましては延長ということもお願いしたりでありますとか、そのほかのところも考えてはまいりたいと思っております。

もう一つは、経験を積んでという話ですが、こちらも予算の編成でありますとか、議会ということもございましたし、そういった意味では経験は積ませていただいたのかと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

この際、暫時休憩いたします。再開は放送をもってお知らせいたします。

（午後2時57分 休憩）

（午後3時30分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

これより討論を行います。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

今回の提案されました、箕面市の教育次長である中井勝次氏の副町長の同意の件について、反対討論をさせていただきます。

中井勝次氏は優秀な人物であると聞いておりますけれども、ダイオキシン問題をはじめとして、豊能町の実態や役場内の実態あるいは町長の体質や議会の関係などを把握されているとは到底思えないし、私の経

験から、6年半の長きにわたり教育長という重責に在職されて実績を残された小川教育長は別格として、大阪府や国から来られた助役は、成長期であった時期も含めて、1年や2年で実績を残された人物はまずありませんでした。今の財政状況下で同じレベルの基礎自治体の職員をお迎えすることは、幾ら優秀な人物であろうとも、大阪府や国のつながりから考えますと無理があると思います。

また、田中町長の話から、外部からの人選をしないと豊能町は変わらないと言われてましたが、最初は町内の人物に要請された経緯がございます。このことから、田中町長は場当たりの判断だけであり、何を根拠に中井氏を要請されたのか疑問であるし、その考え方に一貫性がないというふうに断言をいたします。したがって田中町長の体質から、この議案に賛成することは到底できないということで反対討論とさせていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

7番・永並啓です。町政会を代表し、反対討論のような賛成討論をしたいと思いません。

正直、質疑聞いてまして、やはり答弁聞いてまして不安に感じずにはおれません。特に直近に迫ったダイオキシン問題、やはり何度も足を運ぶ。先ほど乾総務部長おっしゃられました、4月までは来なくていいということと言われたから行かないんじゃないかと、それまででも事あるごとに行ったりして顔を見て相手の名前を覚えるぐらいのことをして4月末を迎える。それぐらい足運ばないと物事って何も解決しないんです。お願いですから、電話で話しましたと

か、そういうのは本当聞きたくないんです。事あるごとに行きました、きのうも行きました、実はきのうも行ってきたんです、明日も行く予定です。何回も足運んでようやく、ああ、すごい困ってるんやな、熱心に何か、何とかしてやろうかなって向こうも心がちょっと動くんじゃないかなと。それを国崎クリーンセンターで処理するって一応方向性を出しているのであれば、それを国崎クリーンセンターのほうでもしていただきたいし、まずは高山で保管していただいているものについても期限が迫っています。さらに延長していただくか、ほかの場所を探るか、いろいろな選択を町長、トップとしては考えていっていただきたい。それをぜひとも、本当にお願ひします。正直、今の答弁では本当反対して、また僕としては公募をして、もっと町長のしたいこと、それを明確にした上でこの人というのが欲しいんですよ、私は。でもグランドデザインを町長示していただけない。とりあえず漠然とした改革をする、何かすばらしい人だと言われても先が見えないから説得力ないんですね。ぜひとも、私賛成しますから、今度来られた副町長の方とともに豊能町の将来ビジョン考えて示していただきたい。そして本当お願ひですから現地に足を運んで行ってください。

以上、賛成討論とさせていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかに討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願ひます。

（多数起立 11 : 2）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第31号議案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第2「第36号議案 豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

第36号議案、豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正の件につきまして御説明をさせていただきます。

本件は財政健全化の一環として副町長の給料の月額を、その任期中減額するものでございます。

内容といたしましては、附則に1項を加えまして、平成25年4月1日から4年間、副町長の給料の月額を、地域手当及び期末手当の算出基礎を含め10%減額するものでございます。これによりまして給料月額は72万円から64万8,000円となり、年間の効果額といたしましては約120万円の減額となるものでございます。

なお、この条例は平成25年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願ひをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

今の提案理由の説明を聞いておりますと10%ということですね。町長はこの前に20%減額されましたわね。10%という根拠をお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

削減率については何%かといった、特に定めはないんですけれども、それぞれの自治体において財政状況も踏まえ独自に定められているところでございます。今回は町長の給与が20%削減していることを考慮して10%としました。これまで平成22年度の副町長が1人体制の際には町長の削減率が17%となったことを考慮して7%とされていたところでございます。今回、町長の削減率が20%であること、またこれまでの過去の事例も参考としながら、今回10%とさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

私の認識が違っておればそういうことになるかもわかりませんが、教育長はたしか5%でしたかな。違いましたかな。違いました。（発言する者あり）たしか今、答弁では、さきの町長は17%でさきの副町長は7%と、10%減らしたから今回も10%と。10%やけども割合にしたら違いますわな。違いますの。17%の10%いうて7%の割合と、20%の10%いう、パーセントは一緒やけど率は違いますわな。やっぱり同じ特別職やから、やっぱり私は統一されたほうがかえって、すっきりいくんじゃないかというふうに思いますけれども、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

やはり前回も町長、副町長と差がありましたし、私の場合は公約ということで2

0%掲げさせてもらったということもございますので、今回は過去の事例とかも考えまして10%というのが適切じゃないかということでさせていただきました。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

結局、今までの、今回の定例会もそうやし、田中町長の考え方がきっちり一貫性がないわけですわな。田中町長の考え方がね。過去の例を考えて、過去は田中町長以外の町長でしたわな。田中町長の考え方を全面的に押し出してもらって、こういう考え方で今後町政をしていくんやというはっきりしたところが全然見えないわけですわ。結局そのとき、そのときの場合当たりの答弁に終始しているということやから、私は今後、あなたが町長を続けていかれることによって、恐らく豊能町は赤字団体に陥る可能性が十分にあるというぐあいに、私、思いますので、これでもう答弁は結構ですけども、私の考えを述べさせていただきます。以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

2点お尋ねします。

今回この100分の10ですけど、これはまず退職金には反映されないということで理解させていただいていいかどうかということと、もう1点、提案理由ですけども、財政健全化の一環としてその任期中ということで、今回4年お世話になるというお考えの上で、この4年間、100分の10を減額するということですけども、ということは、今、財政再建進んでいる中で、平成26年末まではその一環として受

けとるんですが、この後半の2年というのは、これは町長の言わんとする財政健全化の一環の、その先に進んだ部分というように理解させていただいてよろしいでしょうか、人件費に関する。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

1点目につきましては、退職金には、今、反映されない形になっております。

もう一つは、この削減、平成26年以降につきましては、これから財政健全化計画をこれからまた策定することになりますけれども、こういったことも一つの効果の一つということで考えられるのではないかとは思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

ということは財政、これから平成26年、後の財政再建というか、今はというなら財政健全化という言葉になるのかわかりませんが、今回のこの提案を見させていただくと、これは田中町長の言わんとするところの財政健全化の先取りというのは変な言い方かもしれませんが、この人件費に関しては先に進めてますと。またこの後同じようにして平成27年から後もこれに見合った形で進めていきたいという、そういう意志のあらわれとしてとらせていただいでよろしいでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

意志のあらわれといいますか、今この10%削減、平成26年、平成27年になることについては、それは意志のあらわれと言えば意志のあらわれでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

ということは平成27年、平成28年ですね。平成26年から後、この100分の10の減額に見合った財政健全化をほかの職員たちにもやはり広げていくお考えですねということを確認させていただいてるんです。今ここで副町長だけ先行して、この任期中というふうな形で出てきてますので、ですがそうだったらそれで、そういうお考えなんだなって理解させていただきまし、この副町長だけ先、減額だけ進んでいくというのはちょっと気の毒ですし、逆を言ったんならなぜ平成26年のときにしなかったのかなという思いもありますので、あえて平成29年まで出してこられたということは、そういう町長の今後の展望の意志というふうに受けとらせていただいでいいものか、というか受けとるしかないものでして、確認させていただいてます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

これにつきましては特別職ということで、今、削減させていただいていることでもございまして、職員については今現在は考えておりません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

1点だけお聞きします。

町長、先ほど答弁で、公約で20%と言われました。そうなんです。自分の削減率は公約で決めたとおりです。そうなんです。豊能町を変えるために町長は公約で20%と挙げたんです。その町長が変えるために必要な右腕になる特別職の副町長です。同じく私は20%のほうですっきりするかなというふうに思うんです。それを、今度副町長になれる方に、私はこういう改革で、こういう思いで臨んでるんです。ぜひとも20%協力してもらえませんかというようなことは聞かれたのか、全くそういう交渉みたいなことはされてないのか、お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

10%でお願いしたところでございます。以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

最初から10%でどうですかと言ったんですか。だって町長は、私は20%削減して豊能町を変えるんだって選挙を戦われたんです。その思いを相手の方にも一度は伝えるべきじゃないですか。それで20%ですかみたいな感じだったら、それでも来てもらいたかったら10%というものもあるかもしれないですけど、最初から10%というか、20%というのがあるかないかという感じがしますが、そういったことは一度もされてないのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

そういったことはしていません。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

給与の10%カットということで出てますけども、大体今までからやっただけで退職金というのがずっと出てましたわな。今回はその退職金というのはもう全然関係なしにないんですね、これは。今までずっと出されるたび、前回の、今回ですか、退職金、教育長のも出てましたけど。この副町長については退職金の減額とかそういうのはないということでよろしいですな。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

御存じのように、報酬審議会をまた諮りますので、そのときにそのタイミングでまた検討していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

町長、ありますのでというのは、予定してるならわかるけど、ありますのでというのは誰も知りませんよ。

○町長（田中龍一君）

申しわけございません。報酬審議会を予定しておりますので、その中でまた検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

そうしたら、ちょっとおかしい部分が出てきますね。町長の退職金のカットなんか

でも、まだ報酬審議会にかける前から出てましたわな、この前。半額にするいうて。報酬審議会の後でいいんですやん。私、この前の質疑でもちょっと言わせてもらいましたよ。町長の退職金は4年先だから別に慌てて出す必要はないだろうという話、皆覚えてはると思いますけど、私確か言わせてもらいましたよ。そのときにでも、自分は今ここで出していくということでされましたよね。それとやったら整合性、合いませんやん。何で一緒に出てきまへんの。ちょっとおかしいと思いますけど、もう一回お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

こちらにつきましてはもう、なぜというか、私の判断でしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

そりゃ町長の判断で結構ですよ。そうしたら教育長かて何も、新しい教育長になられてから出したらええんちゃいますの。あの小川教育長の退職金でもカットされましたわな、この前。否決されましたけど。出されましたやん。そういったことが全て考えたら整合性、全然合うてませんやん、それ。と私は思うんですよ。私が間違ってるかもわからんけど。そうでしょう。教育長のこの前出されました。ほんで片や勝手にそしたら報酬審議会、これも私、言わせてもらいましたやん。報酬審議会かけていただきたいと。一遍見直していただきたい、全体を。いう話もこれ議会でやってますやん。ちゃいますの。ほんでこの前、教育長あって、町長さんのも出されました、みず

からね。それは自分で出されたんです。そうしたら何で今回の副町長だけは、その退職金というのは全然触れてません。ちょっと私、理解に苦しみますけど、もう一度答弁願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

前回の教育長の退職金につきましては、御本人からの要請もございましたので提案させていただいたところでございます。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（多数起立11：2）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第36号議案は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

議会運営委員会、広報特別委員会、交通特別委員会及び議会活性化特別委員会より、閉会中の審査申し出があります。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

異議なしと認めます。

よって、閉会中の審査を許可いたします。

以上で、本定例会に付された事件は全て終了いたしました。よって、本日の会議を閉じます。

ただいま、小川教育長より発言を求められておりますので、これを許可します。

小川教育長。

○教育長(小川照夫君)

3月定例会の会期末の大変貴重な時間を拝借いたしまして、私のために本当にありがとうございます。

平成18年の11月に教育長の職を拝命いたしまして、この3月で6年5カ月、大変お世話になりました。

この6年5カ月振り返ってみますと、平成18年の12月には教育の基本となる教育基本法が戦後初めて60年ぶりに改正されました。そして翌年、平成19年には学校教育法や地教行法が改正され、当時のゆとり教育あるいはいじめや不登校の問題が上がる中で、平成19年に40年ぶりに全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査をめぐっては、当時の大阪府の実態が全国で下から3番目という大変低い実態が出てまいりまして、当時の大阪府知事との間で市町村は、この原因は今の教員の人事制度にあるのではないかということで、その後、教職員の人事権の移譲というのが起きました。これにつきましては、既に当時の首長さんは何人かおかわりになっておられますけれども、私としては非常に寝耳に水といたしますか、大変なことが起きたなと、今思えば思っておるところでございますが、おかげさまで平成24年度から順調にスタートができて、全国で初めてのの、

政令市を除く、3市2町に人事権が移譲され、そして豊能地区の応募者に対して、募集人数を上回る人が応募していただいた。大変うれしい結果を招くことができました。また、大阪府との間ではいろいろなあつれきもありましたけれども、町としては大変議会の皆様方の御理解もいただきまして、ここまでやってこれたのではないかなというふうに思っております。

特に私は一番思っておりますのは、今年度予算で言いますと、今、本町の教育予算7億9,000万円、これは全体の13%に当たります。私が本庁におりましたときには、約6%が文部科学省の予算でございましたので、それだけ、議員の皆さんをはじめ住民の皆さんの教育にかける思いがこの予算にあらわれているというふうに思っております。

これからの問題といたしましては、平成25年度予算にも計上させていただいておりますけれども、中学校の学校給食の導入をはじめ、小中一貫教育のあり方、そして社会教育については文化ホールの運営、資料館の移設等々課題はありますけれども、これらについては後任に託していきたいというふうに思っております。

これで46年間の公務員生活を終えることとなりますが、この豊能町教育委員会、ちょうど10カ所目の職場でございまして、文科省に次いで2番目に長い職場になりました。私としては、生まれ育った福島県、そして文科省、豊能町と、忘れることができない職場で経験をさせていただきました。本当に皆さん、長い間ありがとうございました。

(拍手)

○議長(福岡邦彬君)

小川教育長には、議会を代表して、これまで6年5カ月の御尽力に対して心よりお

礼を申し上げます。ありがとうございました。

(拍手)

○議長（福岡邦彬君）

本定例会の閉会に当たり、町長から発言を求められておりますので、これを許可します。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

冒頭に、長い間、小川教育長様、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

平成25年第2回豊能町議会定例会の終わりに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

定例会に御提案させていただきました32議案につきまして、御承認、御決定いただきましたことに対しまして、心よりお礼申し上げます。また、長時間にわたり御審議いただきまして、まことにありがとうございました。

平成25年度の当初予算につきましては、住民サービスの充実や町の活性化に配慮した編成としました。住民サービスを向上させることにより、人口の転出を抑制し、税収の減少幅を少しでも少なくする一方で、UターンやIターンが期待でき、町の活性化と人口の増加を図ろうとしたものでございます。この予算に対しまして、皆様から御審議いただきましたことや御意見を十分留意させていただきました。今後実施してまいりたいと思っております。

豊能町では桜が咲き出し、少し春めいてまいりました。しかし、まだ寒い日もあるとは思われますが、どうか皆様におかれましてはお体をお大事にいただくことをお願い申し上げます。簡単ではございますけれども定例会に当たりましての挨拶とかえさせていただきます。どうも本当にありが

たうございました。

○議長（福岡邦彬君）

これをもって、平成25年第2回豊能町議会定例会を閉会いたします。長時間どうも御苦労さまでございました。

閉会 午後4時02分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

第 3 1 号議案 副町長の選任につき同意を求めることについて

第 3 6 号議案 豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正の件

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 年 月 日署名

豊能町議会 議長

署名議員 11番

同 12番